

【ご参考資料】

2018年12月21日

野村アセットマネジメント株式会社



野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド ヘルスケア関連株式の注目ポイント

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド」（以下、ファンド）の基準価額の推移、ファンドの投資対象であるヘルスケア関連株式の注目ポイントについてご説明致します。

当資料の内容

ファンドの基準価額推移

…P2

- 2018年6月以降の基準価額は、2018年10月に大きく下落するも足元では上昇

注目ポイント① 製薬で進むイノベーション

…P3

- バイオテクノロジーによる創薬が急速に進化
- 遺伝子（ゲノム）解析の低コスト化・短期化
- 遺伝子治療の研究・開発が進む
- 新薬の承認件数は増加傾向

注目ポイント② 進化するヘルスケア機器

…P4

- ヘルスケア機器は大きく進化
- 手術室を変えた手術支援ロボット
- 消耗品やメンテナンスサービスなどが安定した業績拡大につながる

注目ポイント③ 相対的に回復基調にあるヘルスケア株式

…P5

- 2018年5月以降、先進国株式を上回るパフォーマンスに転じたヘルスケア株式

注目ポイント④ 相対的に高い利益成長が予想されているヘルスケア企業

…P6

- 米国ヘルスケア企業の利益成長予想は米国企業の平均を上回る
- イノベーションが高成長につながる

注目ポイント⑤ ディフェンシブ性の高いヘルスケア企業

…P7

- 人の命や健康に欠かせないモノやサービスを提供するヘルスケア企業
- 景気低迷期でも相対的に安定して推移してきたヘルスケア企業の利益
- リーマン・ショック時の株価下落も相対的に小幅にとどまる

トピック 米中間選挙の結果がヘルスケアセクターに与える影響

…P8

- ヘルスケアが争点となった米中間選挙は、上院で共和党、下院で民主党が勝利
- 医療費の膨張などがヘルスケア政策への米国有権者の関心を高める
- 薬価の引き下げなどは超党派の取り組みとなる可能性、具体策の発表に注目

ファンドの基準価額推移

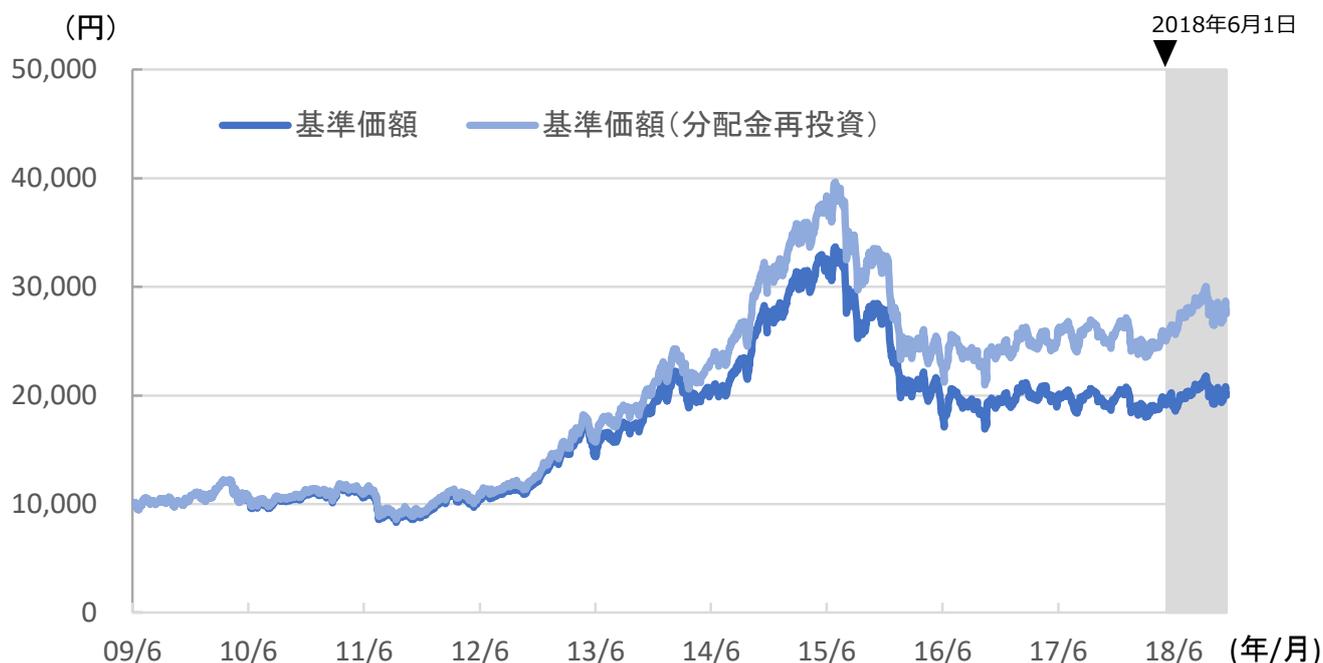
2018年6月以降の基準価額は、2018年10月に大きく下落するも足元では上昇

2018年6月1日にファンド名称及び投資対象を変更してから2018年12月7日までの期間で見ると、ファンドの基準価額（分配金再投資）は上昇しました。

2018年5月に米トランプ大統領が発表した薬価引き下げ策の内容について、大幅な薬価引き下げにつながる内容ではなかったことからヘルスケア株式に買い安心感が広がりました。また、ヘルスケア企業の良好な決算内容やヘルスケア市場の拡大期待などもヘルスケア株式にとってプラス要因となり、2018年6月から10月初めにかけて基準価額は上昇基調となりました。10月には米中貿易摩擦懸念等を背景に世界の株式市場が下落する中、市場拡大への期待などを背景に相対的に株価が大きく上昇していたヘルスケア機器・用品や、相対的に株価の変動率が高いバイオテクノロジーの企業を中心にヘルスケア株式は下落し、基準価額も下落しましたが、2018年6月1日から2018年12月7日までの基準価額（分配金再投資）の騰落率は+8.8%となりました。

ファンドの基準価額の推移

期間：2009年6月24日（設定日）～2018年12月7日、日次



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ヘルスケア関連株式の注目ポイントは次ページ以降にて詳しく説明致します。

（次ページ以降は、「野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド」の主に国内株式等の運用の指図に関する権限を持つピクテ投信投資顧問による情報に基づき、野村アセットマネジメントが作成したものです。）

注目ポイント① 製薬で進むイノベーション

ヘルスケア業界では科学技術の進歩を背景とした様々なイノベーションが進展しています。

バイオテクノロジーによる創薬が急速に進化

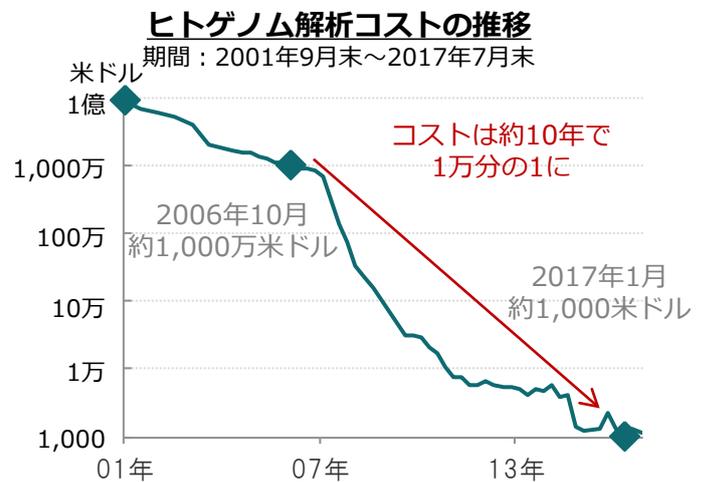
近年、製薬業界ではバイオテクノロジーによる創薬が急速に進化していますが、その背景には遺伝子（ゲノム）解析のコスト低減・短期化、ITおよびAI（人工知能）技術の進化に伴うデータ分析能力などの向上、遺伝子（ゲノム）編集技術の進化などがあります。



画像はイメージ

遺伝子（ゲノム）解析の低コスト化・短期化

2006年には約1,000万米ドルかかっていた遺伝子（ゲノム）解析のコスト（ヒト一人あたり）は、2017年には1万分の1の約1,000米ドルまで低下し、解析スピードも大幅に短期化されています。安価で迅速に遺伝子解析ができるようになったことで、多くの遺伝子データが蓄積され、病気と遺伝子の関係の究明や医薬品の研究/開発に役立っています。



(出所) イルミナ (米国) のデータに基づきピクテ投信投資顧問作成

遺伝子治療の研究・開発が進む

また深刻な副作用で一時、停滞していた遺伝子治療については、遺伝子編集技術の進化などに伴い、研究開発が再び進展しています。遺伝子治療は、遺伝子の変異や遺伝子の欠損が原因の病気（遺伝子疾患）に対しては、正常な遺伝子を補充することで治療効果が得られることから、有望な治療法といわれ注目が高まっています。2017年にはキメラ抗原受容体T細胞（CAR-T）療法やレーバー先天性黒内障の治療が米食品医薬品局（FDA）によって承認されたほか、血友病やデュシエンヌ型筋ジストロフィー、脊髄性筋萎縮症（SMA）など様々な疾患で臨床試験が進められています。

新薬の承認件数は増加傾向

製薬業界におけるイノベーションが進展する中で、米国における新薬承認の件数は増加傾向にあります。FDAによる2018年の新薬承認件数は、2017年の46件を超え49件（2018年11月8日時点）に達しています。

米食品医薬品局（FDA）による
新薬承認件数の推移



2018年は11月8日現在
(出所) 米食品医薬品局（FDA）のデータに基づきピクテ投信投資顧問作成

記載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。また、上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

注目ポイント② 進化するヘルスケア機器

ヘルスケア機器は大きく進化

ロボット技術やIT技術などの進化により、手術支援ロボットや人工組織/臓器、ITヘルスケアなどの分野でヘルスケア機器も大きく進化しています。

また新興国の経済成長に伴う医療施設の高度化なども市場の拡大に寄与しています。

手術室を変えた手術支援ロボット

ヘルスケア機器の進化により手術室は大きく変化しています。

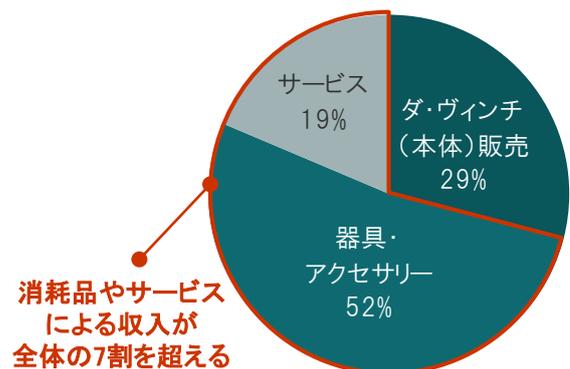
腫瘍の位置を確認しながら手術ができる術中MRIや、3Dカメラや画像解析、繊細なロボティクスなどの先端技術が結集された内視鏡下手術用ロボットなどが、医師の手術を支援し、高い医療技術の均一的な提供につながっています。

消耗品やメンテナンスサービスなどが安定した業績拡大につながる

またヘルスケア機器は市場が拡大すればするほど、高額な本体の販売による収入以上に、使用する度に必要となる消耗品やメンテナンスサービスなどの安定的な収入が収益の柱となり、安定した業績の拡大につながるものと考えられます。手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を提供する米国のインテュイティブサージカルでは、「ダ・ヴィンチ」に関連する消耗品やサービスによる収入が全体の7割を超えています。

他にもペースメーカーや血糖値測定機器なども小型化や新しい技術の導入などにより患者の負担を大きく低減させるものが登場したり、モバイル機器による健康管理など、人々の注目を集めるようなイノベーションがヘルスケア機器で急速に進んでいます。

インテュイティブサージカル（米国）の売上高構成比 2017年



<参考> インテュイティブサージカル（米国）手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」や関連する消耗品、サービスなどを提供する手術設備メーカー。

（出所）ブルームバーグのデータに基づきピクテ投信投資顧問作成

注目ポイント③ 相対的に回復基調にあるヘルスケア株式

2018年5月以降、先進国株式を上回るパフォーマンスに転じたヘルスケア株式

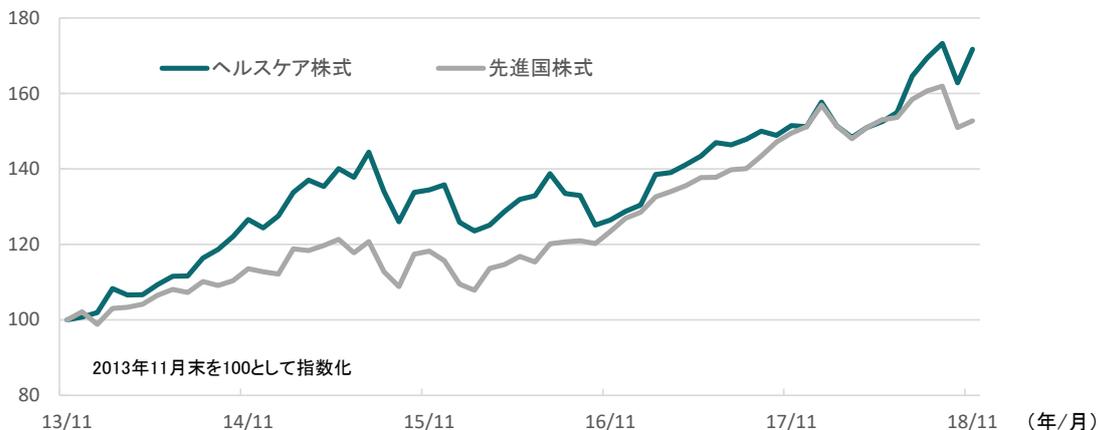
ヘルスケア株式は2013年11月から2015年後半まで先進国株式を上回って推移してきました。しかし、2015年9月の米国大統領選挙時に民主党の有力大統領候補（当時）であったクリントン氏が薬価引き下げに言及して以降、薬価引き下げ懸念が台頭し、ヘルスケア株式は先進国株式を下回るパフォーマンスとなりました。また米共和党のトランプ氏も大統領選挙戦中から薬価引き下げに言及し、大統領就任後の一般教書演説でも薬価の問題を最優先事項のひとつとして取り上げたこともあり、ヘルスケア株式の相対パフォーマンスは下落基調となりました。

その後、2018年5月に米トランプ大統領による薬価引き下げ策が明らかとなりましたが、大幅な薬価引き下げにつながる内容が示されなかったことからヘルスケアセクターに対する安心感が広がり、ヘルスケア株式は再び先進国株式を上回るパフォーマンスとなりました。

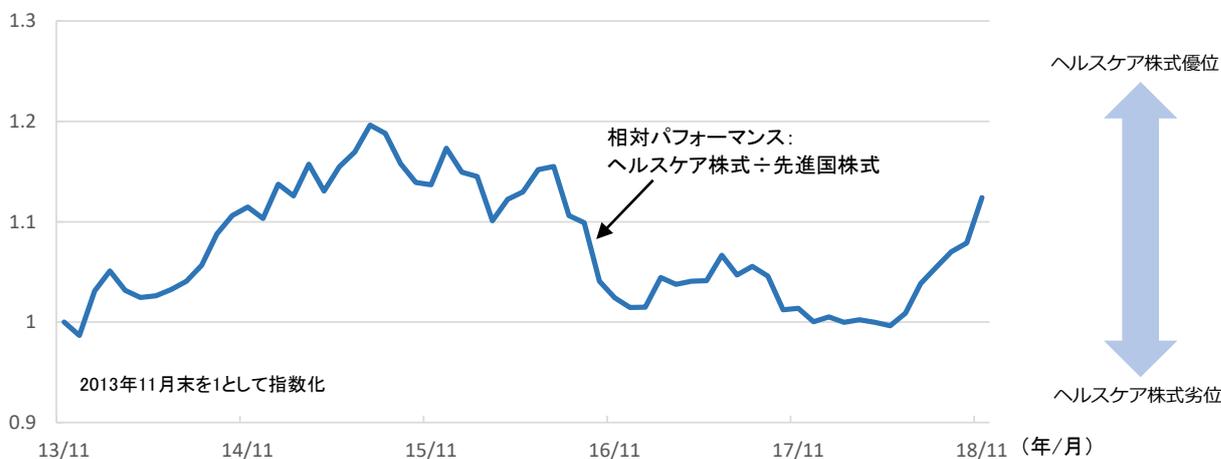
ヘルスケア株式と先進国株式の推移と相対パフォーマンス

期間：2013年11月末～2018年11月末、月次、現地通貨ベース

<株価推移>



<相対パフォーマンス>



・先進国株式：MSCIワールドインデックス(配当込み)、ヘルスケア株式：MSCIワールドヘルスケアインデックス(配当込み)
 (出所) ブルームバーグのデータに基づきピクテ投信投資顧問作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

注目ポイント④ 相対的に高い利益成長が予想されているヘルスケア企業

米国ヘルスケア企業の利益成長予想は米国企業の平均を上回る

米国では良好な経済環境を背景に、企業の高い利益成長が予想されています。このような中、米国企業の業種別利益成長予想を比較すると、ヘルスケアはエネルギーを除く他の業種に比べ相対的に高い水準となっています。

米国ヘルスケア企業の予想1株あたり利益（EPS）成長率は+31%となっており、米国企業全体の同+20%や、成長セクターとして注目され株価が大きく上昇した情報技術の同+20%を上回っています。米国ヘルスケア企業は、サブセクター別に見ても、ライフサイエンス・ツール/サービスなど相対的に高い利益成長が予想されています。

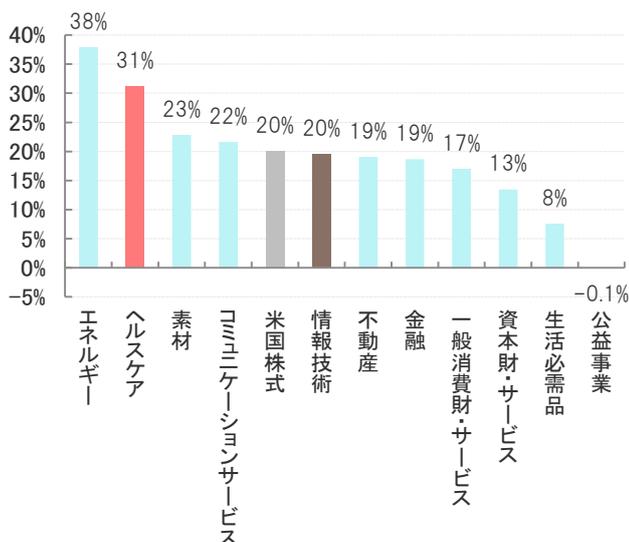
イノベーションが高成長につながる

医薬品企業やバイオテクノロジー企業（バイオ医薬品）では、遺伝子編集を用いた治療など革新的な技術を用いた医薬品の開発が進められています。これらの新薬は、新たな医療ニーズを満たすものや、これまでよりも治療効果が高いものも多くあり、医薬品企業やバイオテクノロジー企業の成長に寄与しています。

ライフサイエンス・ツール/サービスの企業については、新薬の開発に必要な分析装置や試薬、臨床実験サービスなどを提供しており、多くの新薬開発が進む中で、高い利益成長が予想されています。

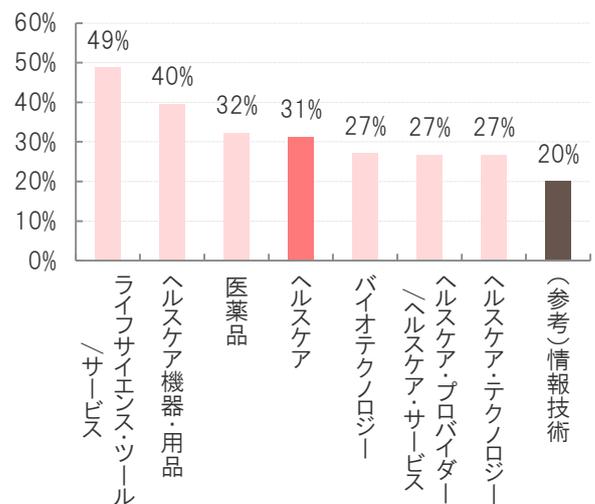
さらにヘルスケア機器/用品の企業も注目を集めています。ロボット技術やIT技術、AI（人工知能）などの進化により、医師をサポートする手術支援ロボットや、人工組織/臓器、ITヘルスケアなどの分野で医療機器も大きく進化しており、ヘルスケア機器/用品の企業は高い利益成長が予想されています。

米国企業の業種別
予想1株あたり利益（EPS）成長率
2018年11月15日現在



・米国株式：S&P500株価指数の構成銘柄、各業種：S&P500株価指数の各業種の構成銘柄

米国ヘルスケア企業のサブセクター別
予想1株あたり利益（EPS）成長率
2018年11月15日現在



・各業種/サブセクター：S&P500株価指数の各業種/サブセクターの構成銘柄

・予想EPS成長率は、直近12ヵ月先予想。2018年11月15日時点のブルームバーグの予想値。
(出所)ブルームバーグのデータに基づきピクテ投信投資顧問作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

注目ポイント⑤ ディフェンシブ性の高いヘルスケア企業

人の命や健康に欠かせないモノやサービスを提供するヘルスケア企業

ヘルスケア企業は、医薬品や医療機器、医療保険など人の命や健康にかかわるモノやサービスを提供していることから、業績が景気変動の影響を受けにくいという特性を持っています。

景気低迷期でも相対的に安定して推移してきたヘルスケア企業の利益

過去の1株あたり利益（EPS）の推移を見ると、リーマン・ショック時、先進国企業のEPSが大きく減少した際にも、ヘルスケア企業のEPSは相対的に安定して推移してきました。

リーマン・ショック時の株価下落も相対的に小幅にとどまる

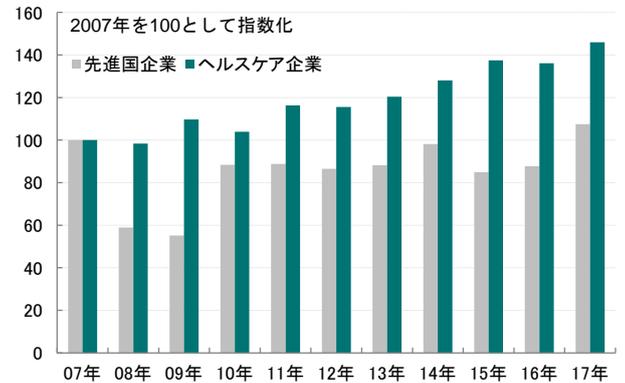
リーマン・ショック時にも、業績が相対的に安定していたこともあり、ヘルスケア株式の下落は先進国株式に比べ小幅にとどまりました。

米中の貿易摩擦や欧米諸国の金融引き締め動きなどが世界経済や企業業績に与える影響が懸念される中、業績が相対的に安定しているディフェンシブ性が高いセクターへの注目が高まる可能性があります。

またディフェンシブ性の高いセクターの中でも、ヘルスケア企業は相対的に高い利益成長が予想されています。

ヘルスケア企業と先進国企業の1株あたり利益（EPS）の推移

期間：2007年～2017年、年次、米ドルベース



・先進国企業：MSCIワールドインデックスの構成銘柄、ヘルスケア企業：MSCIワールドヘルスケアインデックスの構成銘柄（出所）ブルームバーグのデータに基づきピクテ投信投資顧問作成

ヘルスケア株式と先進国株式の推移

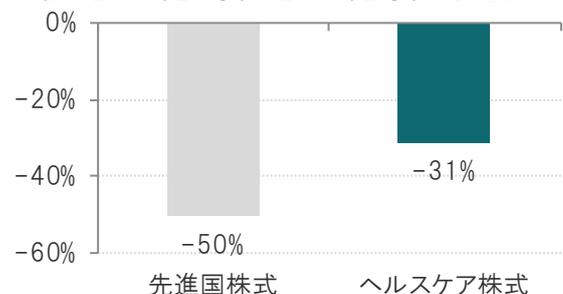
期間：2003年10月末～2018年11月末、月次、現地通貨ベース



ヘルスケア株式：MSCIワールドヘルスケアインデックス(配当込み)
先進国株式：MSCIワールドインデックス(配当込み)
（出所）ブルームバーグのデータに基づきピクテ投信投資顧問作成

リーマン・ショック前後のヘルスケア株式と先進国株式の下落率

期間：2007年10月末～2009年2月末、現地通貨ベース



ヘルスケア株式：MSCIワールドヘルスケアインデックス(配当込み)
先進国株式：MSCIワールドインデックス(配当込み)
（出所）ブルームバーグのデータに基づきピクテ投信投資顧問作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

トピック 米中間選挙の結果がヘルスケアセクターに与える影響**ヘルスケアが争点となった米中間選挙は、上院で共和党、下院で民主党が勝利**

2018年11月6日、米国で中間選挙が実施されました。事前の予想通り、与党共和党が上院で過半数を維持した一方、下院は民主党が過半数を獲得したことから、今後2年間は、いわゆる「ねじれ議会」になることが決定しました。

各報道機関の調査によると、今回の中間選挙では民主党が国民皆保険を目指したオバマケア（医療保険制度改革法）の維持などを争点としていたことから、ヘルスケアに対する関心が経済政策や移民政策を上回っていました。

医療費の膨張などがヘルスケア政策への米国有権者の関心を高める

米国では過去20年間にわたり、医療ケアサービスや処方薬の価格は、消費者物価を上回って上昇しており、このことが米国の有権者のヘルスケア政策に対する関心を高める一因と考えられます。

トランプ政権誕生以降も、高額な薬価は注目を集めていましたが、今年に入り医療ケアサービスや処方薬の価格上昇率が消費者物価の伸びを下回るペースにまで鈍化していることは、薬価引き下げに対する圧力を和らげる可能性があります。

薬価の引き下げなどは超党派の取り組みとなる可能性、具体策の発表に注目

トランプ大統領は、2018年10月にメディケア（米国公的医療保険制度）の薬価引き下げ案を発表するなど、薬価引き下げに取り組んできました。一方、下院議長に就任すると言われているナンシー・ペロシ氏も、以前より薬価の問題を優先順位の高い問題として据えています。中間選挙後、ペロシ氏はヘルスケア政策を、インフラ整備とともにトランプ政権と超党派で取り組める領域であると強調しています。

現時点では、今後どのように超党派での取り組みが行なわれ、どのように効率的に薬価をコントロールしていくのかといった先行きが不透明な点について、具体策の発表が待たれる状況にあるといえます。

中間選挙の結果が医薬品企業に与える影響については、短期的には、特に株式市場のセンチメント（市場心理）という観点から、ネガティブであると考えます。ただし中長期的には、透明性が向上し、度を越えた価格設定がされなくなり、患者の大きな金銭的な負担を避けることにつながるシステムを構築することは、画期的な新薬の開発などの真のイノベーションを提供する企業にとって恩恵をもたらすものと考えます。

当資料で使用した市場指数について

- ・S&P500株価指数は、スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスーズ エル エル シーの所有する登録商標です。
- ・MSCIワールドインデックス、MSCIワールドヘルスケアインデックスはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

《ファンドの特色》

野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド
野村ピクテ・ヘルスケア マネープール・ファンド

●野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド

- ◆信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- ◆世界各国(新興国を含みます。)のヘルスケア関連企業*の株式(DR(預託証券)*を含みます。)を主要投資対象とします。
 - * ヘルスケア関連企業とは、主として製薬、バイオテクノロジー、医療機器、医療・健康サービス関連企業等のことをいいます。
 - ※ Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
- ◆株式への投資にあたっては、世界のヘルスケア関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を各分野の専門的な観点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。また、バリュエーション、流動性等を考慮しポートフォリオを構築します。ポートフォリオについては適宜見直しを行いません。
- ◆株式の組入比率は、高位とすることを基本とします。
- ◆外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ◆運用にあたっては、「ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド」、「ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ」および「ピクテ投信投資顧問株式会社」に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

●野村ピクテ・ヘルスケア マネープール・ファンド（「マネープール・ファンド」といいます。）

- ◆安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。
- ◆円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象*とします。
 - ※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ◆「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
- ◆ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

●スイッチング

「野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド」「マネープール・ファンド」間でスイッチングができます。

●分配の方針

原則、毎年6月18日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

《投資リスク》

「野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド」は、株式等を投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「野村ピクテ・ヘルスケア マネープール・ファンド」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 【野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド】
2024年6月18日まで(2009年6月24日設定)
【マネープール・ファンド】
2019年6月18日まで(2009年6月24日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則、6月18日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
なお、「マネープール・ファンド」は、スイッチング以外によるご購入はできません。
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
【マネープール・ファンド】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド」「マネープール・ファンド」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 「野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド」は、販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ロンドンの銀行 ・ニューヨーク証券取引所
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2018年12月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープール・ファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	【野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド】 ファンドの純資産総額に年2.052%(税抜年1.90%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 【マネープール・ファンド】 ファンドの純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)以内(2018年9月7日現在年0.001188%(税抜年0.0011%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価値証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用(「野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド」、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等)がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	【野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープール・ファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

《分配金に関する留意点》

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

◆お申込みは **野村証券**

商号:野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人金融先物取引業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★

http://www.nomura-am.co.jp/



★携帯サイト★

http://www.nomura-am.co.jp/mobile/

【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。